

第 回 コンパス薬局 スキルアップ勉強会

『イノラス配合経腸用液』

株式会社大塚製薬工場 様

2019. 06. 06

記録：佐藤

エネーボ、エンシュア、エンシュアH他、数多の経腸栄養剤が発売されている中、この度大塚製薬工場より、少量で効率的に栄養素やエネルギーを補給することを目的とし、かつ最新の栄養学的知見に基づいて配合設計された高濃度半消化態栄養剤である、イノラス配合経腸用液が発売された。

＝イノラス配合経腸用液＝

以下、添付文書参照

http://www.info.pmda.go.jp/go/pack/3259120S1021_1_01/

【考察】

ラコールNFは1.0kcal/mLで設計されているのに対し、イノラスは1.6kcal/mL設計のため、同じ300kcalを摂取する際には112.5mLの差が出る。薬価自体はイノラスの方が若干高価ではあるが、総量で計算すると、イノラスの方が割安になる。また、重量で計算してもイノラスの方が軽量である。

タンパク質、脂質を強化することで、効率的にバランスよく栄養素を摂取することが可能であり、さらに脂質にはLCTに比べて消化吸収に優れるMCTを15%配合することで吸収不良の病態にも効率よく摂取可能となっている。

微量元素や長期経腸栄養剤単体管理で不足しがちな栄養素も配合されており、特にセレン、ヨウ素、カルニチンが配合されていることが特徴である。ただし、水分含量は1kcal/mL製品と比べると75%と少ないので、栄養剤から摂れる水分量から1日の必要水分量が不足しない様に注意が要する。

【質疑】

Q. ヨーグルトフレーバーとりんごフレーバーのどちらが人気か。

A. りんごフレーバーの方が酸味があって、鼻に抜けるので人気がある。

Q. 経腸栄養剤は冷やす場合もあるが、イノラスは脂質が多いが冷やしても大丈夫か。

A. 冷やすのは問題ない。

Q. 介護の現場ではとろみをつける事もあるが、大丈夫か。

A. とろみ付けは問題ない。

以上